

## 秋空に映えるお城や名園を満喫

爽やかな秋空に映える和歌山城や名園を満喫——北区会秋のバス旅行は11月1日、44人が参加して晩秋の一日を楽しんだ。ちらほら紅葉が見られるお城や名園を散策、黒潮市場ではマグロや魚介、ミカン、カキが並ぶ店をひやかし、夕方6時過ぎに散会した。【写真】ガイドの案内で天守閣へ④ にぎやかな黒潮市場で買い物⑤

### バス旅行、44人和歌山へ

朝8時、神鉄谷上駅前を出発、しあわせの村で別班をピックアップして一路和歌山へ。お馴染みになった旅行社と観光バスのガイドさんの名調子に時間も忘れ、10時30分には和歌山城到着。城内ガイド3人の案内で、石段と坂道ばかりのコースを1時間半ほど巡った。和歌山城は豊臣秀吉の弟秀長が建立、関ヶ原合戦ののち、浅野行長が大規模な増築を行い城下町として整備したという。その後、家康の十男・頼宣が移り住み、徳川御三家の一つとなった。この城は連立式天守閣が特徴で、名城の一つとなっている。

昼食は「がんこ六三園」。昭和の初め、相場師として活躍した松井伊助が別邸として建て、平成17年にかんこの運営に。広大な日本庭園と屋敷が売りで、雰囲気もよく、弁当の味もまずまず。「うまかったよ。サービスもよかった」と好評だったが、こんな名園に「がんこ寿司」の冠がついているのはちょっと無粋やなあ。

午後は養翠園という国指定の庭園を見学。紀州徳川家10代藩主が造営したもので、池には海水が流れ、カモやサギが乱舞しているのどかな風景が広がる。「あっやっぱり塩辛いわ」と水を舐めた誰かの声。ここで名園を背景に記念撮影。

紀州東照宮は家康を祭る神社。ハアハアといいなが



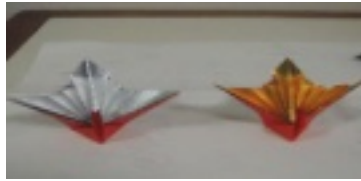
ら、108段の階段を上る。社殿のあちこちに施された極彩色の彫刻が鮮やかで美しい。

最後に寄ったのが黒潮市場。呼び物のマグロの解体ショーは終了間際で見せ場に間に合わず、残念。マグロやカニ、生カキを買い求める会員、サンマ寿司を注文する会員、ミカン、カキをどっさり買い込む女性陣。さながら買い物ツアーのようで、帰途のバスはお土産でいっぱいになった。道満区会長が「天候に恵まれ、たくさんの参加者もあって、和気あいあいと一日を楽しむことができた」と締めくくり、夕方6時過ぎには谷上駅に到着、散会した。

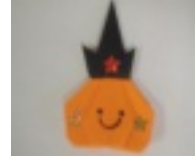
今回の旅行は訪問個所が近くに集中しており、比較的楽なコース。見学は庭園ばかりでいささか退屈な面もあったが、天気は快晴に恵まれ楽しいバス旅行となった。（取材・南形徹）



# Xマスやお正月に飾る…折り紙作り



8～9回  
の作品



## 第8～10回教室にぎやかに

【第8回教室】北区会主催の第8回折り紙教室が10月25日午後、シルバーカレッジ7号教室で16人が参加して開かれました。講師は引き続き榎田みどりさん、榎田まどかさん。淡路忠義委員が助手役を務めました。

この日は、前月の教室で未完に終わったほんぼりを仕上げた後、お正月の金銀鶴、ハローウィンのかぼちゃ、祭りの法被、黒猫にチャレンジしました。先生役3人が作業机を回り、「ここは山折り、ここは伸ばす」などの的確にアドバイス。あちこちから「おお、できた、できた」と歓声があがります。約2時間で終了。「課題はどれもむずかしいが、完成した時はとてもうれしい」「できなかった分は、家で新聞を折り紙にして練習している」などの感想が聞かれました。

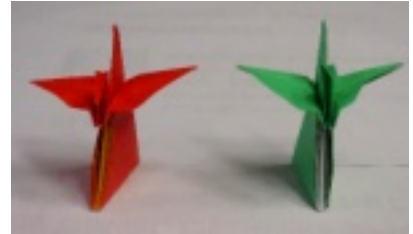
【第9回】第9回折り紙教室は11月29日午後、シルバーカレッジ1・2号教室で17人が参加して開かれました。最初に講師の榎田みどりさんから「この歳になっても折り紙作品は試行錯誤ばかり。新しい作品にチャレンジすることで、脳トレにもなるし、楽しみも増します。皆さんも頑張ってください」と激励があり、作業開始。先生役はみどりさんのほか、榎田公子さんと淡路忠義さんです。

この日はクリスマスツリー、リース、サンタさん、広島鶴に挑戦しました。ツリー、リースは割ととっ



出来上がった作品を持ってハイポーズ！ 9回教室で

つきやすく、皆さんすすいと進みましたが、広島鶴が難解。原爆記念碑の上に鶴を乗っけるという趣向ですが、皆さん悪戦苦闘。結局この日は仕上がらず、次回に持ち越しとなりました。



▲難しい広島鶴 ▼10回の戌と絵馬

【第10回】第10回折り紙教室は12月27日午後、K S C



1・2教室で14人が参加して開かれ、広島鶴と干支の戌、絵馬などお正月作品を制作しました。講師は例によって榎田みどりさん、淡路忠義さんです。前回から宿題となっていた広島鶴にまず取り組みましたが、半数はギブアップ。次回もう一度チャレンジすることになりました。戌と絵馬は割と簡単で「お正月は家に飾れる」と皆さん大喜びでした。

次回は1月31日（水）の予定です。初めての方も歓迎。「認知症予防にどうぞ」。

## 春のハイクは外人墓地へ

2018年春の「歴史の道探訪ハイク」は再度山にある外人墓地周辺コースを検討中。12月27日の運営委員会で担当の木田委員から発言があり、「面白そう。個人では予約の関係でなかなか行けないし」と多くの賛同意見がありました。日時は未定ですが、4月中の予定だそうです。

神戸開港150年の年でもあり、神戸にゆかりがあり、発展に尽くしてくれたモロゾフ、フロイドリーフら著名人をしのぶのも一興ではないでしょうか。コースは神鉄北鈴蘭台から森林公園の巡回バスで現地へ向かい、徳川道などを散策して解散する計画です。詳しい日時・コースは1月末の運営委員会で発表される予定です。